

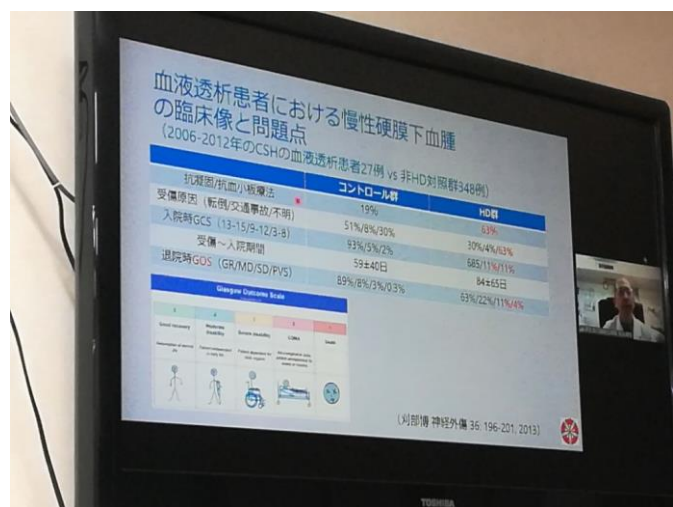
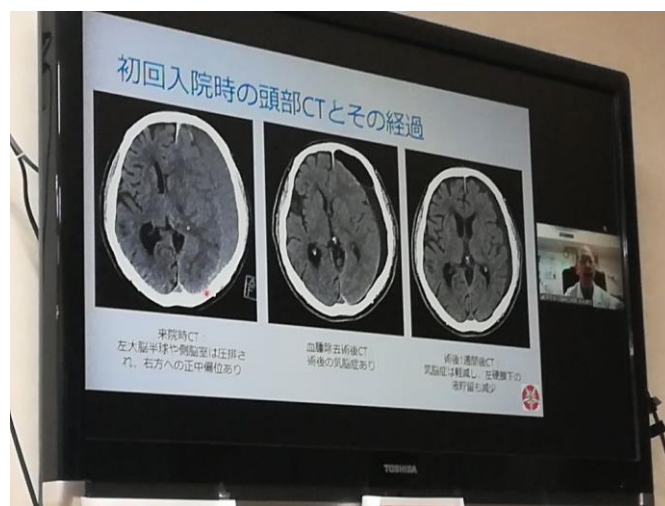
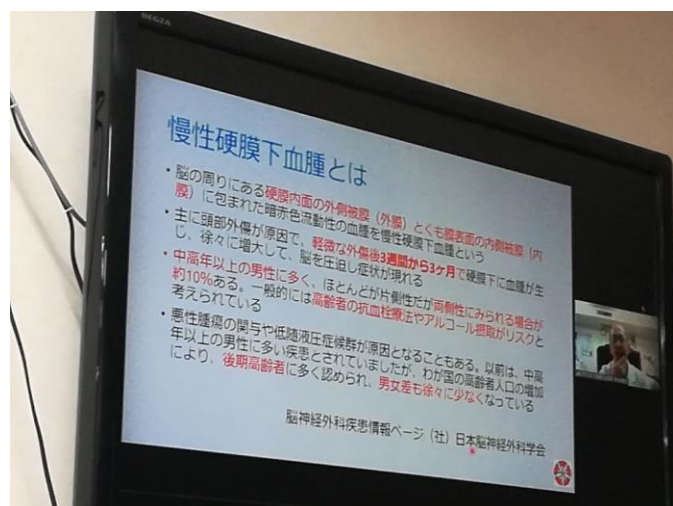
教育研修会

日時：R4年11月29日（火） 17時00分から17時30分

場所：新王子病院 4F 会議室A・食堂（Web講演）

症例：硬膜下血腫 68才 男性 透析歴5年5ヶ月

講師：済生会八幡病院、腎センター主任部長、安永親生先生



今回の症例は硬膜下血腫についてでした。平成14年に脳梗塞の既往歴があり平成29年よりHD導入されています。今年9月5日透析来院時にふらつきを認め、歩行状態が不安定で頭部CT施行左急性硬膜下血腫の診断にて済生会へ入院となりました。即日、血腫施行洗浄術施行され経過もよく、9月15日退院されましたが、10月25日、フォロー目的にて済生会に受診されところ硬膜下血腫再発を認め、同日再入院され血腫洗浄術施行されます。今回の原因は転倒されたり打撲されたりと思いがたえるエピソードはなく原因不明との事でした。透析患者は一般患者に比べて抗凝固剤を使用したり、抗血栓薬を内服したりと硬膜下血腫のリスクは数倍高いとされています。その中でも高齢者は再発のリスクも高いそうです。当院の患者様も高齢者が多く来院されて来られたらいつもと違うところはないか異常の早期発見・早期治療が出来るよう努めていきたいと思っております。